

New Adventures

〔発行〕駿河台大学 グローバル教育センター

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 Tel (042) 972-1218



INDEX

- 2 長期留学制度の特徴
- 3 留学するために
- 4 2018 年度交換・派遣留学応募資格
- 6 長期留学へのスケジュール
- 8 長期留学提携校紹介
- 14 短期留学紹介 - 海外語学演習について -
- 16 [現代文化学部] 授業紹介 - 海外・語学研修 -
- 18 STUDENTS REPORT - 留学体験 -
留学して経験したこと、得たもの
2016 年度交換・派遣留学生の留学体験記
- 20 NEW CHALLENGERS - 2017 年度春、新たな冒険者たち -
春から留学を開始する 2017 年度交換・派遣留学生が意気込みを語る！
- 22 日本留学の思い出
2016 年度ドイツ / 中国交換留学生の感想
- 24 外国語学習支援

長期留学制度の特徴

半年・1年

提携大学への留学の形態は、「交換留学」「派遣留学」の2種類があり、留学期間は半年または1年です。

駿河台大学では、この長期留学制度を利用する学生を、

①学業、②費用、③留学手続き・生活の3つの面からサポートします。



駿河台大学では、長期留学提携校として、世界8カ国11大学と交換・派遣留学協定を結んでいます。

Support

1

学業のサポート



4年間で卒業が可能

- 留学期間も駿河台大学で学んだ年数に算入されるため、4年間で卒業が可能です。
- 留学先での学習が駿河台大学の単位として認定され、**留学中も最大40単位修得することが可能**です。
(留学前の履修登録、留学後の単位認定については、所属する学部の教務課で確認してください。特に、教職・資格課程履修者については、事前に教職・資格課程担当者に相談をしてください。)

Support

2

費用のサポート



留学先の授業料を大学がサポートさらに、往復の航空券・奨学金を支給

- 留学先の授業料を大学がサポート**します。
海外の大学の授業料は通常年間200万円以上になることも珍しくありませんが、この長期留学制度を利用すると、**駿河台大学の学費を支払えば**、留学先大学の学費ならびにそれに準ずる費用は駿河台大学が負担します。
※ただしパスポートやビザ申請等の留学前の諸費用、および宿泊(寮)費、食費などは自己負担となります。
- 往復の航空券を支給**します。
渡航先によっても異なりますが、往復航空券は、通常20~60万円程度かかります。その往復の航空券も大学が用意します。
- 奨学金10万円を給付**します。
「駿河台大学留学奨学金」として、ひとり10万円を給付します。給付奨学金なので返還義務はありません。

Support

3

手続き・生活のサポート

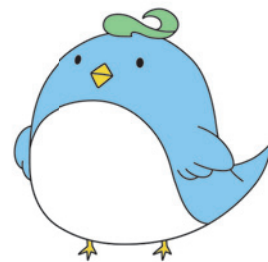


留学決定後から留学終了まで教職員がサポート

- 留学先大学への願書提出や、住まいの確保、ビザの取得など、留学に伴う諸手続きはグローバル教育センター委員(教員)がサポートします。
- 留学事前指導(ガイダンス)を行い、安心して留学ができるようにします。
- 留学中には、駿河台大学の教職員が主にE-mailを利用して留学をサポートします。留学中に起こった生活面、学業面での悩みも気軽に相談できます。
- 留学中には専門機関による危機管理サポートや海外健康サポートを受けることができます。24時間365日、日本語による相談が可能です。本人だけでなく、保証人様も利用することができます。

留学するために

交換・派遣留学生として提携大学へ長期留学するためには、以下の応募資格を満たし、グローバル教育センターが実施する長期留学選考に合格しなければなりません。なお、いきなり長期留学は不安もあるでしょうから、まずは海外語学演習に参加してみることもお勧めします。



応募資格

I 本学への学費が遅滞なく納入されており、今後も遅滞なく納入されること

II 留学の時点で、本学において1年以上修学していること

面接選考は、留学する前年度に行います(1年次・2年次・3年次生が応募できます)。

※編入生の場合は、留学までに最低1年間駿河台大学に在籍していることが条件です。

※ロンドン大学SOAS、バーミンガム大学は、2年次生の派遣はありません。

III 必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること

英語圏への留学

大学	TOEIC	TOEFL		IELTS	英検
		ITP*	iBT		
ロンドン大学 SOAS	×	×	52	4.5	×
バーミンガム大学	×	×	61	4.0	×
エセックス大学	385	430	39	3.0	2級
カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校	385	430	39	×	2級
カリフォルニア大学サンディエゴ校	385	430	39	×	2級
モナシュ大学	400	×	×	3.5	×

※TOEIC、TOEFLのスコアはいずれも2015年4月以降に受験したものが有効です。

※実用英語技能検定は、2014年4月以降に合格した通知書のみの有効。

なお、2級を取得している場合もTOEICやTOEFLの受験を強くお勧めします。

*TOEFL ITP試験は、Level.1のスコアのみが有効です。

第二外国語圏への留学

該当する語学(ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)の専任教員からの推薦が必要です。

語学担当専任教員	ドイツ語	明石 真和 / 研究室: 708E (第二講義棟8階) 小林 将輝 / 研究室: 708D (第二講義棟8階)
	フランス語	山下 尚一 / 研究室: 708F (第二講義棟8階)
	スペイン語	信岡 奈生 / 研究室: 709B (第二講義棟9階)
	中国語	葉 紅 / 研究室: 708H (第二講義棟8階)
	韓国語	朴 昌明 / 研究室: 1416 (本部管理棟4階)

IV 各学部の定める応募資格を満たしていること

各学部では留学への応募条件として、各年次の必要単位数、学業成績などを定めています。

今年度の応募条件はP4-5の通りです。所属する学部・学年の条件を参照してください。

2018年度交換・派遣留学応募資格

法学部

経済経営学部

1 原則

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること。
- 4) 本学における成績のGPAが2.5以上であること。

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること。
- 4) 本学における成績のGPAが平均値以上であること。

2年次に留学(1年次応募)の場合

- a) 1年次において40単位以上修得見込みであること。
- b) 以下の科目を修得見込みであること。

法学入門Ⅰ	2単位
コンピュータ・リテラシーⅠ	1単位
コンピュータ・リテラシーⅡ	1単位
プレゼミナールⅠ	2単位
プレゼミナールⅡ	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
コース共通基礎科目	6単位

- a) 1年次において40単位以上修得見込みであること。
- b) 以下の科目を修得見込みであること。

必修外国語科目 第1外国語	4単位
必修外国語科目 第2外国語	4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位

※ただし、上記以外の1年次配当必修科目の16単位〔経済・経営と社会(2単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)〕、についても、修得しておくことが望ましい。

2 細則

3年次に留学(2年次応募)の場合

- a) 2年次までに80単位以上修得見込みであること。
- b) 以下の科目を修得見込みであること。

情報関連科目	2単位
必修第1外国語	6単位
必修第2外国語	4単位
キャリアデザインⅠ	2単位
キャリア発展Ⅰ	2単位
基礎演習	4単位
展開または選択演習	4単位
コース共通基礎科目	8単位

- a) 2年次までに80単位以上修得見込みであること。
- b) 以下の科目を修得見込みであること。

必修外国語 第1	6単位
必修外国語 第2	6単位
プロゼミナール	4単位
入門演習	4単位
専攻基礎科目	8単位

※1、2年次配当必修科目の18単位〔経済・経営と社会(2単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータリテラシーⅠ(実習)(1単位)、コンピュータリテラシーⅡ(実習)(1単位)、キャリア発展Ⅰ(2単位)、キャリアデザインⅠ(2単位)〕については、修得しておくことが望ましい。

4年次に留学(3年次応募)の場合

- a) 3年次までに110単位以上修得見込みであること。
- b) 以下の科目を修得見込みであること。

情報関連科目	2単位
必修第1外国語	6単位
必修第2外国語	4単位
キャリアデザインⅠ	2単位
キャリアデザインⅡ	2単位
キャリア発展Ⅰ	2単位
基礎演習	4単位
展開または選択演習	4単位
発展演習Ⅰ	4単位
コース共通基礎科目	8単位

- a) 3年次までに110単位以上修得見込みであること。
- b) 以下の科目を修得見込みであること。

必修外国語 第1	6単位
必修外国語 第2	6単位
キャリア育成科目	6単位
プロゼミナール	4単位
入門演習	4単位
演習Ⅰ	4単位
専攻基礎科目	8単位
専攻発展科目	4単位

※1、2、3年次配当必修科目の20単位〔経済・経営と社会(2単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータリテラシーⅠ(実習)(1単位)、コンピュータリテラシーⅡ(実習)(1単位)、キャリア発展Ⅰ(2単位)、キャリアデザインⅠ(2単位)、キャリアデザインⅡ(2単位)〕については、修得しておくことが望ましい。

メディア情報学部

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること。
- 4) 本学における成績のGPAが2.5以上であること。

- a) 1年次において36単位以上修得見込みであること。
b) 以下の科目を修得見込みであること。

基礎教育科目群	8単位	メディアと情報資源、 プレゼミナルⅠ・Ⅱ、 コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ
教養基礎科目群	2単位	健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ
第1外国語	4単位	英語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB (一般学生)、 日本語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB (留学生)
第2外国語	4単位	選択した第2外国語 ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB
専攻基礎科目	8単位	学部科目6単位を含む

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること。
b) 以下の科目を修得見込みであること。

基礎教育科目	6単位	オリエンテーションゼミナル Ⅰ・Ⅱ、メディアと情報資源
情報基礎科目	2単位	情報処理実習Ⅰ・Ⅱ
教養基礎科目 (人間と環境)	2単位	健康・スポーツ実習
第一外国語	4単位	英語Ⅰ・Ⅱ(一般学生)、 日本語Ⅰ・Ⅱ(留学生)
第二外国語	4単位	選択した第二外国語Ⅰ・Ⅱ
キャリア支援 科目群	4単位	キャリアデザインⅠ、 キャリア発展Ⅰ
専攻基礎科目	6単位	情報処理概論
専攻基幹科目 (メディア情報と社会)	22単位	実習1単位を含む プレゼミナルⅠ・Ⅱ、 メディア情報とキャリア

- a) 3年次までに108単位以上修得見込みであること。
b) 以下の科目を修得見込みであること。

基礎教育科目	6単位	オリエンテーションゼミナル Ⅰ・Ⅱ、メディアと情報資源
情報基礎科目	2単位	情報処理実習Ⅰ・Ⅱ
教養基礎科目 (人間と環境)	2単位	健康・スポーツ実習
第一外国語	4単位	英語Ⅰ・Ⅱ(一般学生)、 日本語Ⅰ・Ⅱ(留学生)
第二外国語	4単位	選択した第二外国語Ⅰ・Ⅱ
キャリア支援 科目群	6単位	キャリアデザインⅠ・Ⅱ、 キャリア発展Ⅰ
専攻基幹科目	6単位	情報処理概論
専攻基幹科目 (メディア情報と社会)	22単位	実習1単位を含む プレゼミナルⅠ・Ⅱ、 メディア情報とキャリア
専攻発展科目 (コース共通科目)	4単位	ゼミナールⅠ・Ⅱ

現代文化学部

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること。
- 4) 本学における成績のGPAが2.5以上であること。

- a) 1年次において34単位以上修得見込みであること。
b) 以下の科目を修得見込みであること。

基礎教育科目	10単位	
キャリア教育科目	2単位	
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	2単位	
必修外国語科目	第一外国語	4単位
	第二外国語	4単位

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること。
b) 以下の科目を修得見込みであること。

オリエンテーション科目	8単位
情報教育科目	2単位
キャリアデザインⅠ	2単位
キャリア発展Ⅰ	2単位
健康・スポーツ実習	2単位
プレゼミナル	4単位
専攻発展科目(各選択コース)	4単位
必修外国語科目	4単位以上
選択必修外国語科目	4単位以上

- a) 3年次までに102単位以上修得見込みであること。
b) 以下の科目を修得見込みであること。

オリエンテーション科目	8単位
情報教育科目	2単位
キャリアデザインⅠ	2単位
キャリアデザインⅡ	2単位
キャリア発展Ⅰ	2単位
健康・スポーツ実習	2単位
プレゼミナル	4単位
専攻発展科目(各選択コース)	8単位
演習Ⅰ	4単位
必修外国語科目	6単位以上
選択必修外国語科目	6単位以上

心理学部

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること。
- 4) 本学における成績のGPAが2.5以上であること。

- a) 1年次において34単位以上修得見込みであること。
b) 以下の必修科目を修得見込みであること。

科目名
「人間研究の視点Ⅰ・Ⅱ」(計4単位) 「プレゼミナルⅠ・Ⅱ」(計4単位)
「コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ」(計2単位)
「キャリア基礎Ⅰ」(2単位)
「健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)
外国語の1年次必修単位 「英語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「英語ⅡA・ⅡB」(計2単位) または「日本語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、 「日本語ⅡA・ⅡB」(計2単位)(いずれか計4単位)
「心理学概説Ⅰ・Ⅱ」(計4単位)

- a) 2年次までに72単位以上修得見込みであること。
b) 以下の科目を修得見込みであること。

科目名
「人間研究の方法」(4単位) 「スタディ・スキルズⅠ・Ⅱ・Ⅲ」(計8単位)
「コンピュータ・スキルズⅠ・Ⅱ」(計2単位)
キャリア支援科目群で、「キャリアデザインⅠ」 「キャリア発展Ⅰ」(計4単位)を含む10単位以上
「健康・スポーツ実習」(2単位)
当該外国語の必修単位 「英語Ⅰ・Ⅱ」(計4単位) 「選択英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」(いずれか計6単位)
「心理学概説Ⅰ・Ⅱ」(計4単位)
「心理学統計Ⅰ」(2単位)

- a) 3年次までに102単位以上修得見込みであること。
b) 以下の科目を修得見込みであること。

科目名
「人間研究の方法」(4単位) 「スタディ・スキルズⅠ・Ⅱ・Ⅲ」(計8単位)
「コンピュータ・スキルズⅠ・Ⅱ」(計2単位)
キャリア支援科目群で、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」 「キャリア発展Ⅰ」(計6単位)を含む10単位以上
「健康・スポーツ実習」(2単位)
必修外国語4単位、選択必修外国語6単位
「心理学概説Ⅰ・Ⅱ」(計4単位)
「心理学統計Ⅰ」(2単位)
「演習Ⅱ」を除く専攻科目群の未修得卒業要件単位数が8 単位以下であること
「演習Ⅰ」(4単位)

長期留学へのスケジュール

Step

1

4月~

留学する1年以上前

情報を集めよう。留学先を決めよう。

留学先を決めるときは、イメージだけで選ぶのではなく、留学先の国や大学についての情報も知っておいた方がよいでしょう。どんな国？各大学の授業はどんな様子？大学やキャンパス周辺の雰囲気は？寮やホームステイ先の住み心地は？勉強以外にどんなことができるの？などなど。調べる方法について、P7でいくつか紹介します。

Step

2

4月~

長期留学の応募資格を充足しよう。

P3~5で紹介した応募資格を充足するように準備しましょう。GPAや修得単位も要件に含まれます。そのこともふまえ、しっかり履修登録をし、授業を受けるようにしましょう。特に英語圏への留学は一定の語学能力が定められています。選考書類受付時までに充足できるよう、計画的に準備しましょう。

Step

3

6月~

長期留学選考の日程を確認しよう。

選考は例年7月頃から数回にわけて行なっています。留学先によって、選考日が異なりますので注意してください。選考日程は、6月頃に発表予定です。

Step

4

7月~

長期留学選考を受けよう。

留学先大学によって選考日や必要書類が異なります。指定された期間内に必要書類を受け取り、作成し、提出しましょう（締切厳守）。いずれの選考も書類審査と面接によって行います。何を学びたいか、なぜ学びたいか、留学の目的は何か、などを話せるようにしっかり準備しておくことがポイントです。

Step

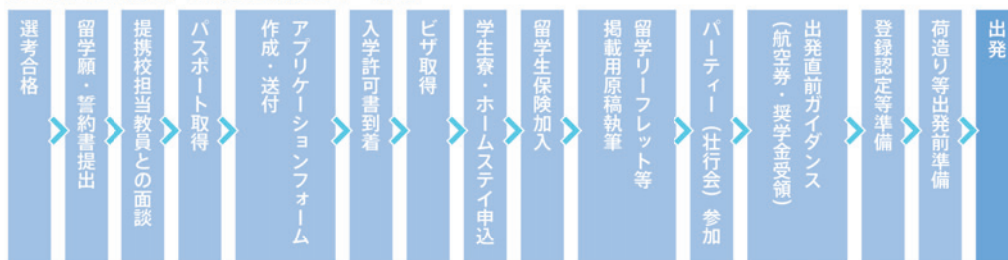
5

合格
発表後

留学手続き・渡航準備を進めよう。

選考の結果、交換・派遣留学生に内定したら、留学に向けての手続きや準備が始まります。手続きは、グローバル教育センター委員（教員）がサポートをしますので、安心して準備が進められます。留学先によって若干異なりますが、具体的に留学前にしなければならない手続きや準備は、以下の通りです。

選考合格後の手続の流れ（一例） ※留学先によって異なります



その他

- 銀行口座の開設（必要に応じて）、クレジットカードまたは国際キャッシュカードへの加入、トラベラーズ・チェックの準備
- 健康診断・予防接種
- 荷造り（飛行機に積み込める荷物には重量制限がありますので、事前に確認しましょう）
- 必要に応じてお土産の準備など様々な手続きや準備が必要です。

Step

6

翌年4月
または
翌年9月

いざ出発！ 充実した留学生活を送りましょう！

情報収集の手段

A 長期留学説明会 〈2017年度は6回開催予定〉

4/18 (火) 長期留学制度の全体説明、
5/17 (水) 第二外国語圏へ留学するための手続きに関すること、
〈6月中旬〉 留学経験者の話を聞く会、
〈7月中旬〉 英語圏へ留学するための手続きに関すること、
〈9月下旬〉 長期留学全体の説明&選考情報、
〈10月中旬〉 長期留学全体の説明&選考情報。
駿河台大学の留学制度や留学先の紹介、長期留学選考の方法などを詳しく説明します。また、留学に必要な知識や選考に向けてどんな準備をしたらいいかなどのアドバイスも行ないます。「留学」に少しでも興味がある人は参加してみましょう。詳しい開催日程は、ポタロウ、グローバル教育センター掲示板(第二講義棟5階)等でお知らせします。



C オフィスアワー 〈随時〉

語学担当の教員は、語学に関するアドバイスだけでなく、留学先大学に関する情報提供やアドバイスもしてくれます。「オフィスアワー」は教員が学生の様々な質問に答えるために設けられた時間です。教員ごとに時間帯が異なりますので、まずはポタロウの [シラバス] > [教員から検索] で、先生方のオフィスアワーをチェックしよう!



E 留学生

留学生が感じているカルチャーショックは、日本を知るいい機会。それに留学生の母国のことも聞け、視野も知識も友達の輪も広がります。日本にしながら国際交流ができます。パーティー等で積極的に声をかけてみましょう。



G 留学リーフレット "New Adventures"

長期留学の選考情報や、留学した学生からの留学報告など、留学に役立つ情報が載っています。グローバル教育センターで配布しています。



B 国際交流パーティー 〈2017年度は3回開催予定〉

〈4/18 (火)、7/12 (水)、2018年1月中旬〉
留学先から帰国した駿大生、駿大に來ている留学生との交流を目的としたパーティー。サンドイッチなどの軽食を食べながら、留学先の様子や文化や生活の違いなど、積極的に話を聞いてみましょう。留学に行くことのできない学生にとっても、日本にいながらにして国際交流が体験できます。友達の輪を広げ、自分の価値観も広げるチャンス!



D グローバル教育センターホームページ 〈随時更新〉

留学・国際交流情報が充実! 長期留学選考スケジュールの発表や、グローバル教育センターが行っている学内の国際交流イベントの紹介、留学中の学生の留学便りなど、情報満載です。留学を考えている学生は、随時ホームページをチェックして、長期留学説明会や、国際交流イベントに積極的に参加しよう!



F グローバル教育センター 〈第二講義棟5階〉

留学リーフレットの配布、長期留学説明会や国際交流イベントの開催など、駿河台大学の留学・国際交流の情報発信基地としての役割を担っています。気軽にセンターを訪れて、情報収集してください。グローバル教育センターの教員・職員は、みなさんの留学したいという熱意を後押しします!



H 掲示板 〈随時〉

選考情報や長期留学説明会・各種イベントの予定等はグローバル教育センター掲示板(第二講義棟5階)、総合掲示板(学生会館北側屋外通路)に掲示、またはポータルサイト(ポタロウ)にてお知らせします。マメにチェックをしてください!



長期留学提携校紹介

駿河台大学では世界8カ国11大学と
交換・派遣留学協定を結んでいます。

注：各国情報は日本外務省「各国・地域情勢」サイト、各国の在日大使館公式サイト、各国国立統計局サイト、Googleマップ、ロイター・ジャパン外国為替、地球の歩き方、世界気象機関サイト、世界紙幣図鑑、世界コイン図鑑を参照しました。



英国

United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

英語圏

気温と降水量

首都：ロンドン	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	7.2	7.6	10.3	13	17	20.3	22.3	21.9	19.1	15.2	10.4	8.2
平均最低気温 (°C)	2.4	2.5	3.8	5.6	8.7	11.6	13.7	13.4	11.4	8.9	5.1	3.4
降水量 (mm)	53	36	48	47	51	50	48	54	53	57	57	57

通貨：ポンド (£)。補助単位はペンス (p) *1ポンド=100ペンス

紙幣	5ポンド、10ポンド、20ポンド、50ポンド
硬貨	1ペンス、2ペンス、5ペンス、10ペンス、20ペンス、50ペンス、1ポンド、2ポンド

レート：：£1 ≒ 140円 (2017年2月20日現在)

送実人数

大学名	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	計
ロンドン大学 SOAS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バーミンガム大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
エセックス大学	1	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	9

派遣留学



ロンドン大学 SOAS

School of Oriental and African Studies, University of London

ロンドン

Thornhaugh Street, Russell Square, London WC1H 0XG, UK

オックスフォード、ケンブリッジと並ぶ名門ロンドン大学の一部。アジア・アフリカ研究を専門とする高等教育機関としてヨーロッパ最大の規模を誇る。

基礎データ	創設：1916年(ロンドン大学は1826年) 学部：16 Departments (アフリカの言語と文化、東アジアの言語と文化、中近東の言語と文化、南アジアの言語と文化、東南アジアの言語と文化、文化人類学・社会学、美術、考古学、開発学、経済学、地理学、歴史学、法学、言語学、音楽、政治学、宗教学など) 学生数：約5,000人
環境	ロンドンの中心部ラッセル・スクエアに位置する都市型の大学。大英博物館、英国図書館に近く、ロンドン大学の様々な施設が近隣に立ち並び、きわめてアカデミックな環境にある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	English Language and Academic Studies (ELAS) フレキシブルなCertificate/Diploma Programme。 9月、1月、4月開講のコース。3ヶ月~1年の期間で学ぶ。クラスはIELTS 4.5~7.0に相当する4つのレベルがあり、英語の勉強とセットで大学の授業の履修もできる。 レベルに応じて、英語集中授業やアカデミック・サブジェクト(エッセイの書き方、文献の読み方、ノートの取り方等)、選択講義(Humanities: 人文科学、Social Sciences: 社会科学、International Business Studies: 国際ビジネス研究を履修。副専攻として、IELTS準備コース、メディア研究等も選べる。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	大学の寮は基本的には9月から始まる1年契約であり、日本の春学期から行く場合は空きがある場合にのみ利用可能。 大学近辺には下宿・アパートが多数存在し、なかには隣り付きもあり。 ●SOAS Hall of Residenceの場合(食事なし)：£155.22/週(2017年度) ●民間の学生用アパートの場合(食事なし)：£150/週(フラットシェア)~£320/週(ワンルームタイプ)(2017年度)
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)
派遣期間	4月~翌年3月



WORLD MAP



バーミンガム大学

University of Birmingham

ウェスト・ミッドランド州バーミンガム
Edgbaston, Birmingham B15 2TT, UK

英国第二の都市にあり、英国をリードする12大学のうちの1つに数えられる名門大学。Japan Centreを持ち、日本に関する研究も積極的に進めている。

基礎データ	創設：1900年 学部：5群に分かれた28 Schools Arts and Law / Engineering and Physical Sciences / Life and Environmental Sciences / Medical and Dental Sciences / Social Sciences 学生数：約16,700人
環境	緑豊かなキャンパスにレンガ造りの建物が並び、英国らしい伝統の重みを感じることができる。コンピュータ自習室などの設備も充実。バーミンガムの中心から約3マイル(約4.8km)の距離にあり、West GateすぐそばのUniversity Stationから2駅でバーミンガム(Birmingham New Street)に到着。バーミンガムからロンドンまでは列車を用いて1時間40分前後。ロンドンのような国際都市では味わえない、「英国」の都市の生活が経験できる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Birmingham Study Abroad Programme (with English) 日本人のために特に用意されているプログラム。主に3つに分けられる。 ①Part 1 (4月～6月)：他の非英語圏の学生も含む少数クラスでの英語(General English)およびコミュニケーション・スキルを学ぶ。 ②Part 2 (7月～9月)：正規の授業の履修の準備として英語(Pre-sessional English)。ノートテイキングやレポートの書き方も学ぶ。 Lectures, Seminars, Cultural visitsも含まれる。 ③Part 3 (10月～12月)、Part 4 (1月～3月)：正規の授業、英語の授業の履修も可。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	メイン・キャンパスから徒歩5～8分程度の学生寮(Jarrett Hall等)が提供される。 ●Jarrett Hallの場合：£85～£252/週(2017年度調べ)
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)
派遣期間	4月～翌年3月



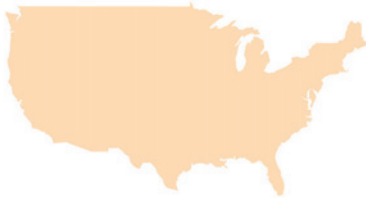
エセックス大学

University of Essex

エセックス州コルチェスター
Wivenhoe Park, Colchester CO4 3SQ, UK

教育方法、研究水準どちらも英国トップ10に入る名門大学。大学所在地のコルチェスターは、英国の記録上最も古い街で、1世紀までさかのぼる歴史ある街でもある。

基礎データ	創設：1964年 学部：23 Departments and School 学生数：約12,000人
環境	自然に恵まれた環境の中にキャンパスがあり、モダンな建物によって構成。ロンドンから列車で東に約50分のコルチェスター郊外にあり、首都圏からの距離や学生数など駿河台大学と環境的によく似ている。近郊には、1世紀ごろの遺跡が残る。アート・ギャラリーがある他、クラシック音楽を含めた演奏活動が盛んで、容易に芸術に親しむことができる。大学各所にコンピュータが設置されており、寮でもコンピュータ接続可。E-mailアドレスが各自に与えられ、インターネットも無料で利用できる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Essex English Language Programme (EELP) 英語の文法と語彙、リーディングとライティング、リスニングとスピーキングについて包括的に学ぶ。プレイズメントテストにより、4つのレベル別にクラスが編成される。夏学期(4～6月)、夏休み学期(7～9月)、秋学期(10～12月)、春学期(1～3月)があり、それぞれ10週間。学期末の到達度テストの成績によっては上のクラスに上がることもできる。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内にある学生寮(高層棟・低層棟、計7種類)が提供される。入寮に際し、希望を出すこともできる。 ●食事なし：£3,000～£5,500/39週間(2017～2018年度) ※宿泊する部屋のタイプにより異なる。上記は一人部屋の場合。
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月～翌年2月



アメリカ合衆国

United States of America

英語圏

気温と降水量

都市：サンディエゴ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	18.4	18.3	18.7	19.7	20.3	21.6	23.7	24.7	24.4	22.7	20.6	18.2
平均最低気温 (°C)	9.4	10.4	11.8	13.3	15.2	16.7	18.6	19.3	18.4	15.9	12.0	9.1
降水量 (mm)	50	58	46	20	3	2	1	1	4	14	26	39

※サンフランシスコはサンディエゴより5度程度気温が低い。

通貨：ドル (\$)。補助単位はセント (c) ●1ドル=100セント

紙幣	1ドル、2ドル、5ドル、10ドル、20ドル、50ドル*、100ドル*
硬貨	1セント(ペニー)、5セント(ニックル)、10セント(ダイム)、25セント(クォーター)、50セント(ハーフダラー)、1ドル

※他国のドルと区別するため、USドルと表記されることもある。

紙幣の*は日常的には使用しない。硬貨の()内は通称名。

レート：US \$1 ≒ 113円 (2017年2月20日現在)

送実績人数

大学名	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	計
カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	-	-	-	-	-	3	1	2	1	2	4	2	2	2	2	21
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



カリフォルニア州立大学

イースト・ベイ校

California State University, East Bay

カリフォルニア州ハイワード

25800 Carlos Bee Boulevard, Hayward, CA 94542, U.S.A.

風光明媚なサンフランシスコ湾東岸のハイワード市にあり、きめ細かい指導で高い評価を得ている American Language Program で集中的に英語を学ぶ。

基礎データ	創設：1957年 学部：文理学部、経営・経済学部、教育学部、自然学部などの学士号課程、大学院(4課程) 学生数：約15,000人
環境	サンフランシスコ湾東岸に位置するハイワード市の高台にあり、広々とした美しいキャンパス。キャンパスはサンフランシスコ国際空港より高速鉄道で約1時間の郊外に位置。学生の課外活動も活発で、75を越すクラブが、スポーツ、芸術、文化活動に取り組んでおり、学内には体育館、スタジアム、美術館、劇場、コンサートホールなどがある。留学中は日本語のできるスタッフがサポートしてくれ、現地学生と個人的に文化交流ができる "Speaking Partners Program" など、充実した補講制度もある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	American Language Program (ALP) 「英語で」学んだり体験したりすることを重視したプログラム。学生の自発的な体験学習を促すためのカリキュラムや課外活動が豊富に用意されている。 ① Intensive English Program (IEP) 週に18時間の集中英語コース。いくつかのクラスから構成。授業は1クラス平均15名の少人数制。 【基礎科目】午前中は教室で、6つのレベルに分かれているWriting (週6時間)、Listening/Speaking (週4時間)、Reading/Vocabulary (週4時間)をそれぞれ学ぶ。 【選択科目】午後は、「US American Culture」、「Film and Music」、「California History」、「A Taste of Hospitality」など、体験を重視した科目を選択できる。また、CSUEBは、月1回のペースで行われるIELTSの公式試験会場にもなっているため、IELTS試験対策クラスもある。 【Bay Area Experience】担当教員から与えられた課題を5~6人のグループで協力し、Bay Area (サンフランシスコを中心とした地域)の様々な場所で体験学習する。 ② Open University (OU) 通常、正規の学生が履修する一般科目が履修できるようになる。IEPの履修において、アドバイザーの推薦許可が得られるとOUプログラムへ進むことができる。1年の留学期間では、早くて3学期ないし4学期で可能となる。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内の学生寮 ●3ヶ月(食費込み)：US \$ 3,821/学期(2016年度春学期)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月~9月または4月~翌年3月



カリフォルニア大学

サンディエゴ校

California University, San Diego

カリフォルニア州ラ・ホヤ

9500 Gilman Drive La Jolla, California 92093-0176

年間300日も晴れていると言われるほど天候に恵まれたサンディエゴに位置し、世界でもトップ50に入る名門校。広大なキャンパスにはユニークな建物が並び、近接した海岸ではサーフィンを満喫できる。世界中から集まった2000人以上の留学生と共に、落ち着いたキャンパスライフを送ることができる。

基礎データ	創設：1960年 学部：医学部が世界的にも有名。その他、社会科学、情報技術、人文学など200以上の専攻からなる。 学生数：33,000人
環境	カリフォルニア州サンディエゴ市に隣接するラ・ホヤ地区に位置している。キャンパスは広く、太平洋に臨むキャンパスは2,141エーカー(8.6平方キロメートル)におよぶ。UCSDは、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション誌の世界大学ランキングで39位。研究大学として高い評価を得ている。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	英語の流暢さや日常英語を話したり理解する能力を改善したり、アメリカ文化に関する知識を深めたいという学生は、10週間英語プログラム「コミュニケーションと文化プログラム(Communication and Culture Program)」が最適。すべてのレベルの学生が受講できる。最初の週に英語のレベルが決められる。 ●月曜日から金曜日、8:30~16:30 ●10週間「1」週20時間(最初の週はクラス編成テスト、オリエンテーション、履修登録) ●すべてのレベルに対応(全11レベル、1クラス6-18名程度) ●中核クラスでは流暢に話し理解できるようになることをめざす。 ●日常英語/アメリカ社会と文化のコース ●幅広い選択科目。「Listening through Music」「American Music」「American Film」「TOEFL/TOEIC Preparation」「Idiom and Slang」「Everyday English」「American Culture」「American Short Story」などアメリカ文化や英語学習を意識した13の選択コース ●2017年度日程：冬学期(1/9~3/24)、春(4/3~6/16)、夏(6/26~9/8)、秋(9/25~12/8)
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	本学もしくは本学OBが斡旋するホームステイ先に宿泊する。 US \$ 13,800.00~US \$ 20,649.00/年(2016年度調べ)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月~9月または4月~翌年3月



オーストラリア連邦

Australia

英語圏



モナシュ大学

Monash University

ヴィクトリア州メルボルン
900 Dandenong Road, Caulfield East, Victoria 3145, Australia

世界で最も大規模な大学の一つで、世界的な教育水準と研究の実績を積む名門校。留学中は一般英語コースに参加。ホームステイでの生活が大きな特徴で、その運用・サポート体制は非常に充実。

気温と降水量

首都：キャンベラ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	27.7	27	24.4	19.8	15.4	12.1	11.2	12.9	16	19.2	22.4	26
平均最低気温 (°C)	13	12.9	10.7	6.6	3.1	0.9	-0.2	1	3.1	6	8.5	11.2
降水量 (mm)	61.5	53.6	52.6	49.5	47.8	39.6	42	47.4	52.8	65.3	64.2	52.5

通貨：ドル (\$)。補助単位はセント (¢) ●1ドル=100セント

紙幣	5ドル、10ドル、20ドル、50ドル、100ドル
硬貨	5セント、10セント、20セント、50セント、1ドル、2ドル

※他国のドルと区別するため、AUDドルやADドルなどと表記されることもある。

レート：AU \$1 ≒ 86円 (2017年2月20日現在)

送出国実績人数

大学名	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	計
モナシュ大学	12	9	9	15	5	3	5	2	1	2	3	5	4	0	1	76

基礎データ	創設：1958年 学部：Art, Design and Architecture / Arts / Business and Economics / Education / Engineering / Information Technology / Law / Medicine, Nursing and Health Sciences / Pharmacy and Pharmaceutical Sciences / Scienceの10学部 Victoria College of Pharmacy 学生数：約65,000人		
環境	メルボルン中心部のシティキャンパスで授業を受け、図書館などは約9キロ離れたコーフィールドキャンパスを利用。日本人を含む専属のスタッフが全面的にサポートしてくれる。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Monash English 5週間を1ユニットとするプログラムを4回20週受講。授業時間は一日4時間、週20時間(月～金、8:30～17:15)。内訳は、12時間が一般英語(General English=Core Module)、8時間が選択科目(Specialist Skills Module)。このほかに週5時間の自習時間が強く推奨されている。各ユニットの前には英語力試験があり、試験結果に応じて授業レベルが決定。レベルはElementary / Pre-Intermediate / Intermediate / Upper Intermediate / Pre Advanced / Advancedとなる。また、レベルにより、選択科目が異なる。1クラスの学生数は、10人から18人程度。		
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	ホームステイ 3食込み：AU \$ 7,604/半年(2015年度調べ)		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次)	派遣期間	3月～8月または9月～翌年2月



ドイツ連邦共和国

Federal Republic of Germany

第二外国語圏



ミュンヘン大学

Ludwig-Maximilians-Universität München

バイエルン州ミュンヘン
Geschwister-Scholl=Platz 1, 80539 München, Deutschland

ドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出している。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパス。

気温と降水量

首都：ベルリン	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	2.9	4.2	8.5	13.2	18.9	21.6	23.7	23.6	18.8	13.4	7.1	4.4
平均最低気温 (°C)	-1.9	-1.5	1.3	4.2	9	12.3	14.3	14.1	10.6	6.4	2.2	-0.4
降水量 (mm)	42.3	33.3	40.5	37.1	53.8	68.7	55.5	58.2	45.1	37.3	43.6	55.3

通貨：ユーロ (€)。補助単位はセント (¢) ●1ユーロ=100セント

紙幣	5ユーロ、10ユーロ、20ユーロ、50ユーロ、100ユーロ、200ユーロ、500ユーロ
硬貨	1セント、2セント、5セント、10セント、20セント、50セント、1ユーロ、2ユーロ

レート：€1 ≒ 120円 (2017年2月20日現在)

送出国実績人数

大学名	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	計
ミュンヘン大学	3	3	2	3	4	1	1	3	1	1	1	0	3	1	2	29

基礎データ	創設：1472年 学部：20学部(法、経済、経営、芸術、文学など) 学生数：約55,000人(留学生約5,400人)		
環境	キャンパスは、バイエルン州の州都ミュンヘン市の中心から徒歩15分。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパスが位置している。都会でありながら治安もよく、文化的な施設や催しも多彩。国際部のスタッフや教員が単独あるいはグループで各学年のアカデミック・アドバイザーとなり、サポートしてくれる。		
留学プログラム(参考)	大学の講義等を受講できる。また、大学附属の「外国人のためのドイツ語コース」を受講できる。		
宿舎(参考)	学生寮 ●寮費：約€300もしくは€400/月(寮による。保証金含む)(2016年度調べ) ●保険：€78/月(2010年度調べ) その他、必要経費として約€120/学期が必要。(学期=夏・冬の2学期制)(2016年度調べ)		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次)	派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

※留学プログラム、宿舎は変更する可能性あり。



フランス共和国

French Republic

第二外国語圏

気温と降水量

首都：パリ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	6.9	8.2	11.8	14.7	19	21.8	24.4	24.6	20.8	15.8	10.4	7.8
平均最低気温 (°C)	2.5	2.8	5.1	6.8	10.5	13.3	15.5	15.4	12.5	9.2	5.3	3.6
降水量 (mm)	53.7	43.7	48.5	53	65	54.6	63.1	43	54.7	59.7	51.9	58.7

通貨：ユーロ (€)。補助単位はセント (¢) ●1ユーロ= 100 セント

紙幣	5ユーロ、10ユーロ、20ユーロ、50ユーロ、100ユーロ、200ユーロ、500ユーロ
硬貨	1セント、2セント、5セント、10セント、20セント、50セント、1ユーロ、2ユーロ

レート：€1 ≒ 120円 (2017年2月20日現在)

送出実績人数

大学名	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	計
アンジェ・カトリック大学	1	1	2	2	1	3	1	2	0	1	0	0	1	0	0	15



アンジェ・カトリック大学

Université Catholique de l' Ouest

アンジェ

3 Place André-Leroy B.P.10808 49008 ANGERS CEDEX 01 FRANCE

10以上の学科を有する私立のカトリック大学。本学からの留学生は、長年にわたりフランス語教育に定評のある、附属語学校 CIDEF (外国人留学生のためのフランス語コース) に在籍する。

基礎データ	創 設：1875年 学 部：神学・歴史学・文学・語学・心理学・数学・エコロジー等、10以上の学科をもつ。 学生数：約11,000人
環境	キャンパスは、ロワール川支流のメヌ川に沿った古い歴史を持つ、フランスの落ち着いた典型的な地方都市アンジェ市にある。 世界150以上の国から留学生を受け入れている。 1947年設立のアンジェ・カトリック大学附属語学校(CIDEF)は、フランス語教育に定評があり、現在、世界中より1200名以上の学生が集まっている。 学内や女子学生寮にあるパソコンが自由に使用でき、大学と学生寮のスタッフが連絡をとりあって、学生をサポートする体制が整っている。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	9月：1ヶ月間、夏期コース(フランス語集中講座)を受講。 10月以降：外国人留学生のためのフランス語コースを受講。フランス語の実力に応じて6段階に分かれる。 中級以上のクラスになると、文明講座も受講可能となり、語学だけでなくフランス文化や歴史も学べる。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	●ホームステイ(食費含まず)：平均€280/月(2017年調べ) ●学生寮(月～金の朝夕付。土・日は自炊可、Wifi完備)：€590/月(2017年調べ)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	9月～翌年2月または9月～翌年6月



スペイン王国

Kingdom of Spain

第二外国語圏

気温と降水量

首都：マドリッド	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	9.7	12	15.7	17.5	21.4	26.9	31.2	30.7	26	19	13.4	10.1
平均最低気温 (°C)	2.6	3.7	5.6	7.2	10.7	15.1	18.4	18.2	15	10.2	6	3.8
降水量 (mm)	37	35	26	47	52	25	15	10	28	49	56	56

通貨：ユーロ (€)。補助単位はセント (¢) ●1ユーロ= 100 セント

紙幣	5ユーロ、10ユーロ、20ユーロ、50ユーロ、100ユーロ、200ユーロ、500ユーロ
硬貨	1セント、2セント、5セント、10セント、20セント、50セント、1ユーロ、2ユーロ

レート：123円 (2017年2月20日現在)

送出実績人数

大学名	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	計
サラマンカ大学	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	0	1	0	0	2



サラマンカ大学

Universidad de Salamanca

サラマンカ

Patio de las Escuelas, 1, 37008 Salamanca, Spain

スペイン最古の名門大学。本学からの留学生が学ぶインターナショナルコースは、スペイン語教育機関として世界的に有名。

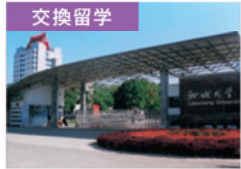
基礎データ	創 設：1218年 学 部：スペインの名門国立大学。法学部、経済学部、芸術学部、言語学部、教育学部、心理学部、医学部、生物学部等、10以上の学部をもつ。 学生数：約30,000人
環境	キャンパスのあるサラマンカ市は、首都のマドリッドから車で2時間半ほどのところにある静かで落ち着いた大学都市で、美しい石造りの建物が多い旧市街は世界文化遺産に指定されている。 インターナショナルコースのスタッフや教員がサポートしてくれる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	インターナショナルコースの「スペイン語・文化研修コース」で学ぶ。 スペイン語の実力に応じたクラスに配属される。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	学生寮 ●1人部屋(3食付)：€31.5/日(2016年度調べ)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月～9月、4月～翌年2月または9月～翌年2月



中華人民共和国

People's Republic of China

第二外国語圏



リャオチョン
聊城大学
Liaocheng University

山東省聊城市
中華人民共和国山東省聊城市湖南路1号

中国は今後、政治的・経済的に世界を牽引する国の一つ。大学は、歴史がある中国・山東省聊城市に位置し、キャンパス内だけで留学生生活全般を送ることができる。

気温と降水量

首都：北京	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	1.6	4	11.3	19.9	26.4	30.3	30.8	29.5	25.8	19	10.1	3.3
平均最低気温 (°C)	-9.4	-6.9	-0.6	7.2	13.2	18.2	21.6	20.4	14.2	7.3	-0.4	-6.9
降水量 (mm)	3	6	9	26	29	71	176	182	49	19	6	2

通貨：人民元。補助単位は角と分 ●1元(塊) = 10角(毛) = 100分

紙幣	1角、2角、5角、1元、2元、5元、10元、20元、50元、100元
硬貨	1分、2分、5分、1角、5角、1元

※口語では元は“塊”、角は“毛”と言う。

レート：1人民元≒16円 (2017年2月20日現在)

送出実績人数

大学名	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	計
聊城大学	3	3	2	0	2	1	0	0	0	0	4	0	0	1	1	17

基礎データ	創設：1974年 学部：25学部88学科(経済、管理、法律、文化、理科、工学、農学ほか) 学生数：約33,000人		
環境	山東省西部の聊城市は2000年以上の歴史がある文化的な地方都市で治安もよい。大都市には薄れつつある中国らしさを肌で感じ、中国人の生活を知るのに適した環境。芸術系の音楽や絵画、書道さらに体育系の授業も受講可能で、多彩で豊かな留学生活ができる。中国語教育センターが設置されており、教員が各学生のアカデミック・アドバイザーとして、留学生をサポートしてくれる。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	外国人のための中国語研修コース。正規の授業を受講できる。		
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	西キャンパスにある留学生専用の宿舎。2013年落成。 ●バス・トイレ、エアコン。Wi-Fi(別払い)。各フロアにTV室あり。共同キッチン、コイン・ランドリー ●二人部屋を一人で使用する場合：4725元/半年(2015年度)		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	2月～7月または2月～翌年1月、9月～翌年2月または9月～翌年7月



大韓民国

Republic of Korea

第二外国語圏



ヨンセ
延世大学
Yonsei University

ソウル
134 Shinchon-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-749, Korea

プロテスタントの宣教師により設立。設立以降、韓国の教育界で中心的な役割を果たしている。韓国最古の伝統を誇る私立の一流総合大学。

気温と降水量

首都：ソウル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	1.6	4.1	10.2	17.6	22.8	26.9	28.8	29.5	25.6	19.7	11.5	4.2
平均最低気温 (°C)	-6.1	-4.1	1.1	7.3	12.6	17.8	21.8	22.1	16.7	9.8	2.9	-3.4
降水量 (mm)	21.6	23.6	45.8	77	102.2	133.3	327.9	348	137.6	49.3	53	24.9

通貨：ウォン(₩)

紙幣	1,000ウォン、5,000ウォン、10,000ウォン、50,000ウォン
硬貨	1ウォン、5ウォン、10ウォン、50ウォン、100ウォン、500ウォン

※1ウォン、5ウォンはすでに製造中止されている。

レート：₩1≒0.10円 (2017年2月20日現在)

送出実績人数

大学名	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	計
延世大学	-	-	2	0	1	3	1	1	0	1	2	0	0	0	1	12

基礎データ	創設：1885年 学部：4年生総合大学、大学院あり 学生数：約27,000人、(2016年4月時点)		
環境	みどりに囲まれた静かで広い快適なキャンパスは、首都ソウル特別市の中心部から西北に約15分の場所に位置。新村洞周辺は大学も多く、大変にぎやかな学生街。たまに映画やドラマの撮影が行われている。留学生サポートシステムが整っており、希望者は、現地の学生との「言語交換(1対1で韓国語と日本語を教えあうこと)」プログラムに参加できる。また学生のくつろぎの場「Global Lounge」があり、マルチチャンネルのテレビ、インターネット、各国の資料が整備されている。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	交換留学生向けの英語による授業と韓国語学が提供する交換留学生対象の韓国語学習プログラムが開設されている。1学期に履修登録しなければならぬ単位数は9～18単位である。先の履修登録可能科目には韓国語学堂の交換留学生対象韓国語学習プログラム(6単位)が含まれている。韓国語学習プログラムでは、学生の韓国語学力レベル別に授業が行われる。		
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内のSKグローバルハウスやインターナショナル・ハウスなどの留学生向け学生寮などがある。エアコン、バス・トイレ、テレビ室、コンピュータ室、食堂、洗濯室、売店などあり ※希望者は、下宿やホームステイによる生活も可能。		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	3月～7月または3月～12月、9月～12月または9月～翌年7月

短期留学 (海外語学演習)

短期留学は、「海外語学演習」として、各学部のカリキュラムに配置されている4単位の授業科目です。

特徴

1

夏休みの3~5週間を利用して、提携機関の充実したプログラムへ参加可能!

駿河台大学で開講している全言語 (英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語) に、提携する海外の指定機関があります!

語学プログラムのほか、観光ツアーや文化体験イベントなども充実しています。プログラムの詳細は、『短期留学提携校』一覧表およびガイダンスで確認してください。

※『海外語学演習』情報の入手先

- 留学リーフレット『New Adventures』
- ガイダンス (ガイダンス配付資料は、グローバル教育センターでも閲覧できます)
- シラバス (『海外語学演習』の各言語欄を参照のこと)
- 過去の先輩たちの『短期語学研修参加者アンケート』 (グローバル教育センターで閲覧可)

2

履修登録と必要な手続きをすることにより、原則誰でも参加が可能!

履修登録をしていない学生は、参加することができません。また、1度参加し、単位を修得した学生でも翌年度以降も何度でも参加することができます。春学期中に行われる事前指導とセットで、帰国後は4単位が付与されます。

3

担当教員と、1学期間かけて綿密に準備!

担当教員が、春学期の1学期間をかけて、留学手続きや語学、現地での生活などの事前指導を行いますので、安心して出発することができます!

4

5万円の奨励金を支給!

留学にかかる費用は全額自己負担となりますが、5万円の奨励金を大学から給付しています。(参加費用の目安は『短期留学提携校』の一覧表で確認してください。)

参加までの流れ

まずは、必修の外国語科目をきちんと受講!

履修していない外国語圏に参加したい場合は、こうしよう!

「OO語と文化」(教養基礎科目)を履修。

基礎力をつける

「OO語演習」(自由選択外国語)を履修。

語学力をブラッシュアップ

いざ、「海外語学演習」へ

1 「海外語学演習ガイダンス」に参加

「海外語学演習ガイダンス」は、3月末~4月初のガイダンス期間中に実施します。詳しい日程は、「2017年度行事予定表」をチェック!

2 「海外語学演習」を履修登録

履修登録期間に必ず履修登録を!(履修登録をしない場合、参加できません。)履修登録の方法が分からない場合は教務課またはグローバル教育センターへ。

3 「第1回事前指導」に参加

春学期授業開始週(4月12日~18日)に行います。2回目以降の事前指導スケジュールを決定しますので、必ず参加してください。日程・場所は、ポタロウまたは各学部の掲示板で確認してください。

4 2回目以降の事前指導に参加

短期留学プログラムへの留学手続きや語学指導、現地生活のアドバイスなどを行います。決められたスケジュールどおりに準備をしていきましょう!

5 出発

6 帰国

担当教員へプログラム終了と参加の報告をしてください。アンケートへの協力もお願いします!

※帰国後のオプション

- 「OO語演習」(自由選択外国語)で、さらに語学力に磨きをかけることもできます。
- もちろん、長期留学にチャレンジすることもOK!可能性を広げよう!

『海外語学演習』の事前指導内容はコレだ!

春学期授業計画	
第1回	海外語学演習プログラムの概要
第2回	現地の社会と文化(1)
第3回	現地の社会と文化(2)
第4回	外国語でのあいさつと自己紹介
第5回	手続き等の説明と指導(1)(入学申込)
第6回	旅行会話(1)
第7回	旅行会話(2)
第8回	手続き等の説明と指導(2)(ビザ申請)
第9回	日常生活のマナーと表現(1)
第10回	日常生活のマナーと表現(2)
第11回	手続き等の説明と指導(3)(航空券手配)
第12回	現地の地理・交通
第13回	大学と参加プログラムについて
第14回	手続き等の説明と指導(4)(保険手続き)
第15回	まとめ

※表は一例です。参加する海外語学演習により事前指導の内容は異なります。

短期留学提携校

英語		カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 / ケント州カンタベリー(英国) コース名：一般英語サマースクール 研修期間：8月(3週間) 費用：450,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 世界遺産のカンタベリー大聖堂からほど近い歴史的な街の中心に位置し、初心者から英語を学べる数少ない英国の大学です。
		エセックス大学 / エセックス州コルチェスター(英国) コース名：英語研修プログラム 研修期間：8月中旬より5週間 研修費用：650,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 英語の初心者から参加が可能なプログラム。チュートリアルなど学生一人一人がきめ細かな指導を受けられるところが魅力。 平日においても多様なイベントがあり、勉強だけではなく、現地の大学生との交流や体験も期待できる。
		カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校 / カリフォルニア州ハイワード(米国) コース名：夏期英語研修(アメリカン・ランゲージ・プログラム(ALP)) 研修時期：8月(5週間) 研修費用：800,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 初級者から上級者までのレベル別クラスで、会話やリスニングなど総合的な英語をアクティブに勉強する。 研修期間中は大学の寮に宿泊。週末には、近隣の観光地や博物館などへ小旅行も実施される。
		カリフォルニア大学サンディエゴ校 / カリフォルニア州ラ・ホヤ(米国) コース名：4-week ESL Program 研修期間：8月(4週間) 費用：800,000円程度(授業料・渡航費・現地滞在費を含む) 太平洋を臨む広大なキャンパスで、自然な英語での会話やアメリカ文化を学ぶ。 文法や語彙力の向上を図る授業に加えて、学生たちは他の留学生や現地学生、コミュニティの人々で構成されるUCSD英会話リーダーと交流する機会もある。研修期間中は大学内の寮かホームステイを利用。治安も良好。
		モナシュ大学 / ヴィクトリア州メルボルン(オーストラリア) コース名：短期英語研修 研修時期：9月(3週間) 研修費用：550,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 英語によるコミュニケーション能力の養成、オーストラリアの生活と文化の理解、学生や市民との交流を深める。 滞在中はホームステイ。
ドイツ語		ウィーン大学 / ウィーン(オーストリア) コース名：国際ドイツ語コース 研修時期：8月(4週間)もしくは9月(3週間) 費用：300,000円程度 外国人のためのドイツ語コース。レベルは1から6まで用意されており、初心者も参加可能。学生寮に宿泊。 月～金の午前中に授業。 午後は、ウィーン大学主催のドナウの船旅等の企画や、ウィーン大学講師の講義に参加することもできる。
フランス語		パリ第4大学ソルボンヌ / パリ(フランス) コース名：フランス語・フランス文明講座(夏期講座) 研修時期：8月(4週間) 費用：550,000円程度 外国人対象のフランス語講座として世界的に有名。語学力によってクラス分けがされるので、無理なく受講できる。 主に実用フランス語研修と発音矯正。希望者はフランス文化・文明についての講演も受講が可能。
		アンジェ・カトリック大学 / アンジェ(フランス) コース名：夏期講座8月コース 研修時期：8月(4週間) 費用：580,000円程度 最初に語学力に合わせてクラス分けされる。入門クラスから6段階のレベルに分かれる。 各クラス10～20名程度、文法、会話、語彙、発音をバランスよく学べるようプログラムされている。 週末には、スポーツ活動、映画鑑賞、文化的催し、日帰りバス旅行なども楽しめる。
スペイン語		サラマンカ大学 / カスティーリャ・レオン州サラマンカ(スペイン) コース名：スペイン語・スペイン文化研修コース 研修時期：8月(4週間) 費用：500,000円程度 スペイン有数の国立大学。外国人のためのスペイン語教育で高い評価を得ている。 授業レベルは細かく分かれ、初心者でも参加可能。1クラス15名以下。宿泊は設備の整った大学寮(個室、3食付)。 週末に実施される大学主催の小旅行に参加して、スペイン各地やポルトガルを訪れることもできる。
中国語		北京師範大学 / 北京(中国) コース名：夏季短期コース 研修時期：7月下旬より3週間と4週間の2コースあり 費用：25万～28万程度、留学生宿舎の宿泊。 5名～15名の少人数クラス、初心者でも無理なく学べる。 課外活動として、京劇や雑技の鑑賞と万里の長城、天壇公園など訪れる。
		国立台湾師範大学 / 台北(台湾) コース名：短期語学研修 研修期間：8月上旬より3週間 費用：270,000円程度、1人部屋希望の場合変動あり レベルに応じた10名以下の少人数クラス。語学授業以外に文化関連授業や行事も充実している。
韓国語		延世大学 / ソウル(韓国) コース名：3週間短期課程 研修時期：8月(3週間) 費用：250,000円～300,000円程度 初級から上級までの8段階のクラス編成で基礎的な日常会話や韓国社会について、じっくりときめ細かい指導をしてくれる。 初心者でも安心して参加できる。

※表中の費用は、過去の実績に基づく目安として参照してください。実際には、現地校の授業料や寮費の改定、通貨レートや航空券の価格変動等によって、変わります。

海外・語学研修授業紹介

現代文化学部のみ

現代文化学部では、海外研修や語学研修の授業を実施しています。
昨年度実施した授業の様子や、今年度、来年度実施予定の研修関係授業を紹介します。

海外スポーツ文化研修 南半球でコミュニティスポーツを学ぶ

- 研修先: ウェリントン(ニュージーランド)
- 研修期間: 2月中旬から約2週間
- 研修費: 40万円程度(別途大学から5万円の補助金あり)
- 対象学生: 現代文化学部 2・3年生
- 募集人数: 10名前後 (例年5-8名の参加がある。)

●研修内容・目的

真冬の日本を飛び出し、南半球に位置する真夏のニュージーランドでコミュニティスポーツについて、その実践と理論を学びます。研修先はNew Zealand Institute of Sport (NZIS) という、とても有名なスポーツ高等専門学校になります。また、この研修期間中には語学学校にも籍をおき、語学(英語)のブラッシュアップにもチャレンジします。そして、嬉しいことに上記の2校からは「修業証書」を研修最終日にはいただくことができます。

滞在する場所は、首都のウェリントンです。そして、約2週間の滞在期間中はスポーツにご理解のある現地のご家庭にホームステイをさせていただきます。

さてここに、みなさんがちょっと気にしそうなことを2点ほど述べます。

①まずは費用についてです。燃油サーチャージの有無、為替変動などにより多少差異も発生しますが、概算で40万円程度となります。(しかしながら、履修生には大学から奨励金として5万円が給付されますよ!お忘れなく。)

②次は語学力についてです。この点の心配は無用です。どなたでも参加が可能です。



英語でホッケーを学びました。



語学学校での仲良しと。



アウトドアでのスポーツ実践。



コミュニティ・スポーツの講義を受ける。

学生の感想

海外スポーツ文化研修を終えて

私はこの研修を終えてみて、本当に行きたくて良かったと心から思っています。人生で初めての海外・ホームステイということで不安もたくさんありましたが、この研修で得た経験は必ず自分の将来にとってプラスになる!と自信をもって言えます。ニュージーランドで過ごした日々は1日1日に大きな価値があり、本当に貴重な経験ばかりでした。毎日通った語学学校とNew Zealand Institute of Sport (NZIS) というスポーツ学校ではたくさんの出会いがあり、その中で多くのことを学びました。言葉は全部が全部通じるわけではありませんが、伝えようとする気持ちが本当に大切で、目を見て笑顔で接すれば言葉の壁は乗り越えられるのだということをもまずは1番に感じました。NZISではトレーニングなどの講義・実

現代文化学部4年 笹川春香

技指導を受けたりもしました。そこで学ぶ学生たちは、一人ひとりが本当に意欲的で、とても刺激を受けました。何をやるにしてもこういう具合に真っ直ぐと向き合う姿勢が大切だと強く感じました。また、ホームステイについては、始め本当に不安ばかりでしたが、こんな私にどんな時も優しく、そして暖かく接してくれたホストファミリーのおかげで本当に楽しく充実した日々を送ることが出来ました。一日一日が新しい出会いや発見で、自分自身を見つめ直すこともできた本当に貴重な2週間でした。少しでも興味のある人はぜひ次年度以降奮って参加を考えてみてください!

観光研修 香港特別行政区に行き、観光研修を行う 2017年度実施概要

- 研修先: 香港特別行政区
- 研修期間: 2017年8月31日~9月5日
- 研修費: 8万円(別途大学からの補助が出る予定)
- 対象学生: 現代文化学部 3・4年生

●研修内容・目的

香港は、アヘン戦争で清からイギリスに割譲され1997年まで植民地でした。それゆえ、中国文化だけでなく、イギリスを中心としたヨーロッパ文化が浸透していますし、同じくイギリスの植民地であったインドやマレーシアの文化が入っています。また、労働力が貴重なため、家庭の主婦も自立してフルタイムで働くことが普通です。この穴埋めに、フィリピンやインドネシアから多くのメイドさんが家庭内で住込みで働き、休日には彼女たちが集まって世間話に興じます。日本人は1900年頃から進出し、日本式のお墓もあつたりします。そんな文化交流路の香港は国際観光都市でもあり、年間多くの観光客で溢れています。

そんな香港の中心部、尖沙咀に宿泊して、ホスピタリティの実態を学んでもらいます。



添乗研修 CLUB MED BALIでの添乗研修 2016年度実績

- 研修先:バリ島(インドネシア)
- 研修期間:2016年9月1日~9月5日
- 研修費:19万円(別途大学から5万円の補助金あり)
- 対象学生:現代文化学部 3・4年生
- 参加人数:5名



●研修内容・目的

バリはインドネシアの中心であるジャワ島の東にある5,000平方キロの小さな島ですが、年間373万人(2014年)の外国人観光客を受け入れ、日本人も年間20万人が訪れるという国際的なリゾート地です。

2016年度は、地上の楽園バリにおいて、海外旅行の添乗員(ツアーコンダクター)が行う仕事を、実際に体験しました。研修はCLUB MED BALIで行われました。CLUB MEDは世界25か国80か所にリゾートホテルを運営する世界最大のバカンス企業で、1950年にフランスで設立され、従来の

周遊型観光旅行ではなく、ゆったりと滞在するという滞在型観光旅行が特徴です。

豊かな自然、さまざまなイベント、豪華な食事、リラックスした雰囲気のほか、CLUB MEDの最大の特徴は、GOと呼ばれるスタッフがさまざまな国から集まってきたお客さんの中に入り、お客さん同士がフレンドリーにコミュニケーションできるようにするという点です。その結果、お客さんはCLUB MEDでいろいろな国の友達をつくることができます。

イベントには、さまざまなパーティやスポーツがあ

り、スポーツはテニス、ゴルフ、ウィンドサーフィン、カヤック、シュノーケリング、自転車、アーチェリー、フィットネス、バレーボール等。パーティーは子供のパーティー、プール・パーティー、スポーツ・パーティー等々、毎日がパーティーでした。

それぞれのイベントやパーティをオーガナイズするのが各国から集まったGO(スタッフのこと)たちであり、日本からも現在4人のGOがCLUB MED BALIで活躍しています。この方たちからいろいろな貴重な話を聞くこともできました。

学生の感想

GOについて、私はとても面白い仕事だと思います。普通のホテルやリゾートなら、ホテルのスタッフしかいません。しかしクラブメッドには普通のスタッフがいるだけでなく、GOという仕事もあって、それは他のリゾートとは違い、クラブメッドの特徴です。最初の授業の時、先生から、GOはお客さんと一緒に食事ができると聞き、いったいGOはどのような仕事か、全然予想ができませんでした。現地ではGOに会うと、みんな生き生きと仕事をしていて、施設を案内してくれたり、どこで会っても挨拶をしてくれて、みんなフレンドリーだと感じました。



国内英語研修 英語集中プログラムに参加 2018年度開始予定

- 研修先:ブリティッシュヒルズ(福島県)
- 研修の期間:8月中旬か8月下旬頃、2泊3日(2018年度開始予定)
- 研修費:65,000円程度(予定)
- 対象学生:現代文科学部2年生以上
- 参加人数:2名以上

●研修内容・目的

国内英語研修は、現代文化学部国際文化コミュニケーションコースが開設する新しい科目であり、2018年度に開講する予定です。学生のみなさんは、「ブリティッシュヒルズ」という国内の魅力あふれる英語集中プログラムに参加します。

ブリティッシュヒルズに一步足を踏み入れてまず気づくのは、そこにいる人びとがみな(授業中でもないのに!)英語で会話をしていること。ここでは英語を公用語とし、中世の英国の街並みが再現されているため、自然と英語を話す環境が整えられているのです。

授業もたいへんユニークです。初級クラスを紹介すると、たとえば、「おしゃべり」(Small Talk)という授業では、ゲームやアクティビティを通して自己紹介のしかたや基本的な会話の始め方、適した話題について学びます。また、物事や人物を表現する授業(Basic Describing Things/ Basic

Describing People)では、やはりアクティビティを通じて、モノ・コト・ヒトを表現するための形容詞を学び、描写力の向上に役立つレッスンになっています。そのほかにも、「自分について語ろう」(Talk about Yourself)ではさまざまな側面から自分のことを伝える練習をし、「トラベル英語」(Travel English)では、海外旅行をするときに、空港やレストラン等で役立つ会話をロールプレイで練習します。そして、教えていただく先生たちはみな英語圏出身。とても熱意のある魅力的な先生たちばかりです。

ブリティッシュヒルズの研修に参加することによって、英語力やコミュニケーション力を伸ばし、さらに、異文化への理解を体感的に深めることができます。まさにパスポートなしの留学体験です。海外留学に少しためらいがある人は、まずは国内の語学留学を体験してみたいかがでしょうか?



マナーハウス

ブリティッシュヒルズでは、授業が行われるこのマナーハウス(荘園領主の館)を中心に、ティールームやパブ、宿泊施設が点在しています。



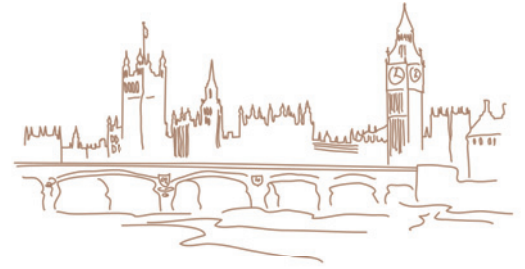
大食堂

ハリリーポッターの映画の一場面を思わせる、広々とした食堂です。

STUDENTS REPORT

2016年度

交換・派遣留学生帰国報告



留学して経験したこと、得たもの…
2016年度交換・派遣留学生の留学体験記。

My memorable time studying abroad



前列真中が別府さん

カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校

派遣留学生

留学期間 2016年4月～2017年3月

法学部 4年

別府 菜々

鹿児島玉龍高等学校出身

1年間の留学生生活は長いようでとても短い1年でした。最初は慣れないことばかりで、ホームシックになり日本に帰りたいと思うことも多々ありました。アメリカは日本よりも物価が高いのにクオリティが低かったり、食べ物や口が合わなかったり不便なことばかりでした。ですが、カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校は様々な国からの留学生がたくさんいて、その人達と関わり、相手の国の文化や挨拶などを学びながら友達を作っていく中でこの土地を好きになっていき、日本ではできない経験がたくさんできました。

私はAmerican language program(ALP)という語学プログラムで英語を勉強しました。ALPは、1～6の6つのレベルに分かれており、最初のクォーターにテストがあり振り分けられます。授業はReading & Writing, Grammar, Listening & Speaking, Elective classの4つに分かれていてほとんどの授業が午前中に終わります。クラスメイトのほとんどは中国系の学生で他にはサウジアラビア人やタイ人、ベトナム人、イエメン人の学生もいました。そして、このプログラムによってたくさんのかげがえのない国際的な友人を作ることができました。

幼い頃から夢にまでみた海外での生活を実現し、毎日英語を話せる環境に身を置くことができ、それを陰から支えてくれた駿河台大学の留学制度、両親にはとても感謝しています。留学生生活は視野を広げられると

いいですが、それは本当だと自分自身で実感しました。クラスメイトやルームメイトと話したり、関わっていく中で、この世の中には自分とは全く違った外見、価値観、文化、宗教などを持つ人達がいる、日本人の考え方を受け入れてもらえる国があったり、受け入れてもらえない国があることも身にしみて理解しました。例えば、私の意見としては、相手に気を遣ってはっきりと相手に言えない文化のある日本人は他の国の人達よりも損を感ずると感じました。時には自分が今まで信じてきたことを否定されたり、良くも悪くも考え方を換えられたりすることもあり、四苦八苦しました。

私は、留学前は卒業後就職を考えていましたが、現在は、アメリカでもう一度今度は語学留学ではなく専門的に学ぶことを目指しており、これまで以上に英語の勉強に力を入れています。アメリカの大学生はとても勉強します。みんなしっかりと目標を持っていて学ぼうという意識が非常に高いです。日本でここまで勉強に打ち込む環境に浸ることがなかったので、とても刺激を受けました。日本に帰ってから英語を忘れないようにし、アメリカで作った人脈をこれからも大切にしていきたいです。最後に私の経験から言わせてもらおうと、今留学を考え、迷っている人達には、是非勇気を出して留学を決断して欲しいです。きっと想像以上のものが得られると思います。

海外に来たからこそ分かったこと



左が玉井さん

カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校

派遣留学生

留学期間：2016年4月～2017年3月

経済経営学部 4年

玉井 紀行

沖縄県立コザ高等学校出身

私はアメリカのカリフォルニア州で一年間の留学をさせていただきました。私の通っていた学校は、海と山に囲まれた自然豊かな場所にキャンパスがあり、勉強するには最適な環境だったと思います。また、繁華街まで行ける電車もすぐ近くを通過して、遊びや観光も満喫できます。長期休暇にニューヨークに行ったこと、また、念願のNBAの試合を見に行くことができ、とてもいい思い出となりました。

私の住んでいたカリフォルニアは、本当に多様な民族や宗教の人が暮らしているため、いろんな文化が混ざり合った、美しい街並みや文化に出会うことができます。そのため、いろいろな国の文化について知る機会も多くありました。また、私は一年間ルームシェアをしてきましたが、宗教や育った環境の違いから、大変なことはたくさんありましたが、それらから学べたことはた

くさんあったと感じています。

留学生生活を通して学んだことは、自信をもって話すことです。授業のカリキュラムにはプレゼンテーションやグループワークの時間が多くあり、自分の意見を伝える機会がたくさんありました。英語を話すときもそうですが、新しいことにチャレンジして失敗することを恐れず、自信を持って取り組むことが大事であると学びました。

最後に、世界で大きな話題となった大統領選挙において、実際にその場の雰囲気を感じられたことはすごく貴重な体験だったと思っています。それ以外にも、世界には知らない出来事がたくさんあり、今回、海外に来なかつたら興味すら持たなかつたものもたくさんあります。留学するということは、自分自身の視野を広げる良いきっかけになると思いました。

世界から見た日本って？

留学に興味があるけど英語が話せない、自信がない、海外に行ったことがないから不安…というそのあなた！私も留学前は全く同じ状況でしたが、留学を終えた今、私は人生で一番充実したかけがえのない一年であったと自信を持って言うことができます。

留学の目的は主に2つあり、視野を広げることと英語しか通じない環境に身を置くことでした。最初に述べた通り、私は今まで海外に一度も行ったことがなくいきなりイギリスに約一年間住むという経験をしたので最初は英語も喋ることもできなければ、いきなり生活環境が変わったことに毎日ストレスを感じていました。しかし時が経つにつれコミュニティの輪がどんどん広がったり、英語で生活するという環境に慣れ、自分の英語力の上達を身を持って感じる事が出来たので毎日の生活が色鮮やかになっていきました。

私が通っていたエセックス大学は140ヶ国以上の国と地域から学生が集まっておりキャンパスはまさに世

界の縮図のようになっていきます。色々な国の友達とお互いの国の料理を作り合ったり、言葉を教え合ったり、文化を紹介し合ったり、日本の大学生活では得ることが出来ない経験をたくさんすることができました。また自分が思っていた以上に世界中の人が日本という国、文化に興味を持っていて、これから日本に留学するという友人も何人かいます。

面白いことに日本人は寿司を毎日食べていると思われていたり、生卵を食べることに驚かれたり…様々なイメージを抱かれています。客観的に見た日本という国をじかに知ることができた気がします。そしてより自分の生まれた国に誇りを持つことができました。

留学は新しい経験ができるだけではなく、自分の国について改めて考えるきっかけにもなると感じました。最初の一步はとてハードルが高いものかもしれませんが、留学で得るものはかけがえのないものになると思います。

留學生活で体験したこと



聊城大学

交換留学生

留學期間：2016年2月～2017年1月

心理学部 4年

澁川 直哉

群馬県立前橋商業高等学校出身

留学を一年間試してみても感じたこと思ったことは多くあります。一つ目は「楽しかった。面白かった。」です。留学の感想を聞かれてまず思うことが楽しかったということです。毎日、宿題だけでなく予習、復習をしないと授業についていくことすら難しかった中でも、楽しいことはとてもたくさんありました。私の誕生日にはサプライズパーティーをしてくれたり、絵の濃淡が大切しか教えてくれない中国の先生の絵の授業など書ききれないほどの楽しい思い出があります。留学生全員エネルギーで退屈な時間や暇な日はなく、とても充実した日々を送ることができました。

二つ目は「勉強も楽しくなった。」です。語学を勉強している毎日理解できることや伝えられることが増えていきます。国内ではインプットは自分でできてアウトプットをすることは難しかったので楽しいとは感じられず、テストのための勉強になっていました。しかし、留学中は毎日会話をするので強制的にアウトプットの練習ができます。そのため、毎日相手が何を言っているのか理解できることや、自分の思っていることが伝わる楽しさを感じることができました。また、聞き取れなかった時や自分の思っていることが上手に伝えられないこともありました。それらのことは、悔しさやストレスとなり、それらの解消のためには、勉強するしかないで勉強するモチベーションになり、意識を高く保ちながら勉強することができました。

三つ目は「中国語に対する考えが変わりました。」2

1年間のミュンヘン生活

この1年間のミュンヘンでの生活は素晴らしいものでした。

ドイツに到着したのは授業が始まる1か月前だったので、友人を作る機会が見つからず、多少の不安がありましたが、学生寮で生活していると自然と友達ができ、その友達の友達を紹介してもらったりと友達が増えていき、すぐに不安は消えました。

私はドイツ語や英語も含め勉強が得意ではないので友人との会話から語学力の向上に努めました。この作戦がうまく働き、今では会話で苦労することはほとんどなくなりました。日本人の友達をなるべく作らないようにしたのも、この作戦の効果を高めたと思います。日本語が通じない環境に身を置くことも語学力の向上に大切なことの一つだと実感しました。

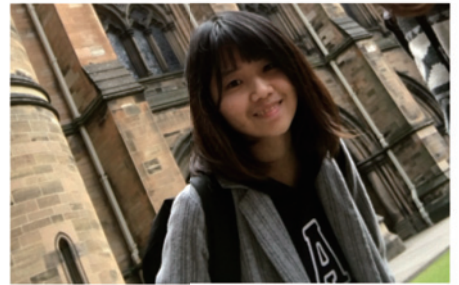
ドイツにはオクトーバーフェストだけではなく、楽しい行事が他にもたくさんあり、常に新しい経験をする事ができます。中でも、私のお気に入りにはクリスマスマーケットです。非常に寒い真冬の夜に外で飲むホットワインは最高でした。近い将来また来ようと思います。

ドイツでの生活はもちろん良いことばかりではなく、苦労したこともありましたが、それも含めて貴重な経験です。

また、ドイツに来る前と1年間生活した今では、ドイツに対する考えも変わり、実際に生活し現地の人から聞いてみなければ知ることができないことが多いと改めて感じました。

ドイツには、隣国からの移民だけでなく、世界中の国々から仕事や勉強のために労働者や留学生が多く集まっています。ドイツ以外の国の人からその国の話を聞くことができます。日本人留学生の参加者は少なかったですが、ミュンヘン大学の学生団体が主催、運営する留学生向けの飲み会などの企画では、非常に国際的で普段関わる機会が少ない国の人々と話すことができました。元々私は日本の文化をたくさんの外国人に伝えたいという思いが強かったため、多くの国の人と話ができることは、私にとって非常に良いことでした。

この1年間の経験は決して忘れることのできないものになりました。また、この経験を将来にも生かしたいです。



エセックス大学

派遣留学生

留學期間 2016年4月～2017年3月

現代文化学部 4年

菅野 理沙

宮城県仙台二華高等学校出身

学期目のクラスではプレゼンテーションやディベートをする機会がありました。その時感じたことは、中国語は単なる道具であり目的のための手段の一つにすぎないということでした。プレゼンテーションの準備をしている際に、クラスの仲間や先生に伝えることや内容が大切で伝えるための手段の一つに中国語があることを理解しました。日本語、英語をはじめ様々な国の言葉は単なる道具であり、大切なのは言葉を通して何を理解するのか、何を伝えるのかだと考えが変わりました。その結果、中国語を勉強する目的が中国語を学ぶことから中国語を通じて中国を学ぶことになりました。

四つ目は「異文化理解です。」様々な国からの様々な文化、宗教を持った人々の中で生活することによって、異文化を体験または自分の目で見る事ができました。その中で特に驚いたことはエチオピアでは一年は13か月あること、イスラム教の女の人でも肌を露出する服を着る人がいること、中国人のおじさんは夏シャツをめくってお腹をだして平然と外にでることです。どれもとても驚きました。驚くだけではなくその文化の背景を学ぶことができたと思います。例えば「中国人はお腹を出せば体全体が涼しくなっている。」など、行動には原因があることも学びました。

この一年間は人生の中で大きな意味を持つ一年間になったと確信しています。この経験を活かせるように今後の生活に活かしたいです。



左が秋葉さん

ミュンヘン大学

交換留学生

留學期間：2016年4月～2017年3月

経済経営学部 4年

秋葉 翔太

大智学園高等学校出身

NEW CHALLENGERS 2017

— 新たな冒険者たち —

Good luck

春から留学を開始する2017年度
交換・派遣留学生が意気込みを語る！

異文化理解への一歩

私は、2017年4月から交換留学生として半年間、ドイツのミュンヘン大学に留学することが決まりました。私は、昔から英語が苦手だった為海外に対して怖いというイメージを抱いていましたが、駿河台大学に入学してさまざまな文化や異文化間のコミュニケーションの大変さを学び始めると、その考えは一転しました。ジェスチャー一つとっても国が違えば全く違う意味になったりするのは、私にとって驚きで、どうしてそう考えるようになったのか、地域では違うのだろうかと無関心だった外の世界に目が向くようになっていきました。そうして、昨年オーストリアのウィーンで「海外語学演習」として約2週間生活した事で異文化に囲まれて生活することは、更に多くの興味に変わりました。電車に乗っていて声をかけられたり、犬を連れてご婦人に道を聞かれたり、日本では見た目外国人だとわかる人に道を聞いたり初対面で声をかけるのは少ないことだと思います。ですが、ウィーンではよくあることで

更に語学のクラスメートには、話す間ずっと目を見て話す人も多くいました。それらは、その国々では当たり前の行為で、そうすることが礼儀という場合や相手の印象に大きく作用することも多々ありました。この体験から、相手が日本の礼儀について誤解する場合も多くあるのではないかと思うようになりました。話す際に、視線を合わせることは相手に話を聞いているという意味を伝えられるし、とても大切なことです。しかし、長時間目を合わせていると威圧感を感じてしまい、私はどうしても目をそらしたくなってしまいます。その結果、クラスメートはその行為に自分が何かしたのかと酷く不安だったと聞きました。このように、些細なことだと思っても異文化間では大きく作用します。このような差は、実際に体験してみないとわからないことだと思います。だから、半年間のドイツでの生活は多くの文化の差を学び自国の文化も同時に広めていこうと思っています。



ミュンヘン大学

交換留学生

留学期間：2017年4月～2017年9月

現代文化学部 3年

熊谷 遥花

クラーク記念国際高等学校出身



中央が小澤さん

カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校

派遣留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

現代文化学部 3年

小澤 悠理

駿台甲府高等学校出身

夢の実現と感謝

Hello. My name is Yuuri. I'm second year student and I'm major in contemporary cultures.

私が留学したいと思ったのは中学の時でした。しかし高校卒業まで部活に追われ英語に触れる機会も少なく、もともと勉強をしないのでその付けが今まわってききました。「なぜお前がいけるんだ?」とか「それで行くの?」とか思われたり、言われたりしました。確かに会話となると頭が真っ白になり文も浮かんでこないし、ことが終わってから文が出てきたりするほど本当に英語ができません。ですが私に合ったスタイル、今までやってきたスタイル「習うより慣れる」精神で現地で身につけて、帰国したときに、マイナス発言をした人たちを見返すほど成長したいと思います。今私は現代文化学部の観光ホスピタリティコースに所属しています。英語はもちろん American Culture と American Hospitality も学んで、自分の将来を見つけ、つなげていきたいと思っています。

Todd先生を主に、一緒に留学する、私とは正反対

の英語ができる三石君、グローバル教育課の堀内さん、去年留学に行った先輩方の助けを借り、手続きを終えることができました。ありがとうございます。特に、ずっと私の夢だった留学に賛成してくれ、支えてくれた両親、私を励まし後押ししてくれた友達にとても感謝しています。よく「不安はないの?」と聞かれますが考えたことがないです。強いていうなら語学力です。アメリカへ行って、たくさん困ってたくさん学んで、友達を作り、楽しみながら生活したいと思います。1年寂しくなることは多々あると思いますが頑張ります。アメリカ留学を考えている人は帰国後なんでも聞いてください。

My English is not so good now. So I'll improve my English by getting used to it. I'll do my best and I hope I'll grow more in America. See you again when I'm back japan next year. Thank you.

イギリス留学に向けて

私は、2017年4月から1年間イギリスのエセックス大学へ留学します。昨年の夏に短期で1ヶ月ほどの語学研修に参加し、もう一度同じ環境で英語を学びたいと思い留学を希望しました。私は、大学卒業後の進路についてまだしっかりと決めていないので、この留学を通して自分のやりたいことなどを見つけ、将来に繋がっていきたくて考えています。このまま何の目標も持たずにただただと過ごしていてもつまらないと思ったので、学生のうちにたくさんのことを経験してみたいと思ったのもきっかけの一つです。

今回の1年間の留学で、英語を基礎からしっかり学び直したいと思っています。日本で英語を学ぶよりも海外の学校で英語を学ぶ方が、英語だけを集中して勉強することができるので学習の効率も良いと思います。また、私は英語を話すことが苦手なので、ネイティブの方とたくさん交流して少しずつ苦手を克服していきたい

です。

他にもイギリスの歴史や文化なども学びたいです。私はアメリカの歴史や文化なども学んでいるので、イギリスの歴史を勉強すれば同じ英語圏の歴史の違いなど、もっと深くまで研究できると考えています。一番の目的は語学を学ぶことですが、異文化に触れることも大切だと思います。留学中には様々な国の人と交流をする機会も多いと思います。その時にいろんな国の文化を知ると同時に、日本の文化の素晴らしさなども伝えていけるといいと思います。今までずっと日本で特に苦労もなく生活してきましたが、海外は常識や言葉が通じないこともあり、とても生活しづらい環境です。しかし、何もかもが日本とは違う環境の中で、様々なことを体験することで自分自身を成長させることが出来ると考えています。今回の留学が無駄にならないように、しっかりと努力をし、精一杯頑張っていきたいと思っています。



エセックス大学

派遣留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

法学部 3年

櫻井 淳

科学技術学園高等学校出身

留学の目的

私は、将来地元に戻ってグローバル企業に就職したいと考えています。自分なりにここ数年英語を勉強してきました。けれども、思うように結果は出ませんでした。それにもかかわらず、海外で勉強する機会を与えて頂いたことに感謝しています。

私は、人を言葉で動かすということができるようになりたいと考えています。それが、人との信頼を築く基礎となり、お金を動かす根本だと考えているからです。お金を動かす為には、人を動かすことはとても重要だと考えています。アメリカは日本以上に自己責任が原則の国であると認識しています。恐らく、アメリカでは日本以上に物事を主張する必要があるのだと推測します。私は、この留学は物事を演繹的に主張する練習ができる数少ない経験になると考えています。

また、これまではTOEICを中心に受験してきました。今後は、TOEFLといった自分の考えを英語で発信す

る能力も必要とされる試験の為に勉強したいと考えています。TOEFLの出題範囲は幅広く、勉強していても様々な知識が得られます。何かを主張するためには、最低限の知識を英語の体系の中で有していなくてはなりません。そのために、幅広い知識を英語を介して学びたいと考えています。

これまで、日本にいるからと英語の勉強を怠ってしまっても少なくありませんでした。アメリカでは、英語を通して数多くのことを学べる機会だと考えています。この留学で自分自身に乗り越えてもらわないといけない壁は、TOEIC800点、TOEFL80点だと考えています。心理学を活かしながら自分を制御していきたいと思えます。

私は、この留学で、留学経験者として最低限認められる英語能力と、人を動かせるコミュニケーション、ディスカッションのスキルを身に付けたいと考えています。



右側が三石さん

カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校

派遣留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

心理学部 2年

三石 一彰



ミュンヘン大学

交換留学生

留学期間：2017年4月～2018年3月

経済経営学部 3年

富樫 薫

北海道札幌平岡高等学校出身

留学で学びたいこと

私は2017年4月から1年間ドイツのミュンヘン大学へ留学することが決まりました。私は大学へ入学する前から留学することに興味を持っていましたが、一番の決め手となったのは大学で行われたドイツ語暗唱大会に参加したことでした。暗唱大会では、他大学や一般の方などドイツに興味を持っている人が参加しました。その人たちと話していると、より、ドイツへ行ってみたいと思うようになり、留学することを希望していたので、1年間も留学へ行けることはとても嬉しいですし、これからの人生で大きな財産になると考えます。

私は、今回の留学で初めて海外へ行きます。日本の中で常識だと考えていたことが全く通用しなくなり今までの常識や考え方、価値観など変化することがたくさんあると思っています。そして、それらの変化をより大きなものにするには積極的にドイツの人とコミュニケーションを取ったり、ビール大国ドイツならではのオ

クトーパーフェストに参加してみたりと、留学しなくては得ることのできないような経験をしてみたいと思います。

また、ドイツ語はもちろん、文化や歴史についても学びたいと思います。私は将来、難民の方たちの支援に携わりたいと考えています。戦争の歴史が多いドイツですが、現在では難民の受け入れを積極的に行っています。そのため、支援の仕方についてや、難民の受け入れのメリット、デメリットなどについて日本にいるよりもたくさん学ぶことができると考えます。

最後に、留学を承諾してくれた両親、サポートして下さった先生方、グローバル教育課の方への感謝の気持ちを忘れずに様々なことに挑戦し、多くのことを吸収し、より大きく成長できるような1年間を送りたいと思います。

初めての海外・中国

私は2月22日から半年間、中国山東省にある聊城大学に留学します。これから行く中国では、今まで経験したことのない楽しいこと、つらいことがたくさん待っていると思います。例えば、日本と中国の文化の違いを実際に感じることや、日本語が通じない環境で生活しなければならないこと、他の国から来る留学生との共同生活などです。こういった経験は実際に留学に行かないと絶対できないことで、今後の人生に良い影響を与えられると思います。そう考えるととても楽しみです。しかし、初めての海外、初めての海外生活なので不安もあります。私が住む寮は2人部屋で、外国人と半年間過ごすのはいけません。言葉も通じないのに友達になれるのかがとても心配です。こういった状況で自分がどれだけ頑張れるかが大事だと思うので、とりえずニコニコして精一杯の中国語で乗り切っていくと思います。また、学校の授業は中国語を英語で説明すると聞きました。私は英語が一番苦手なので、わからない中

国語を、わからない英語で説明されるという困った状況になると思います。なので、この機会に中国語だけではなく英語も勉強しようと思います。私生活では、日本に留学していた中国人の友達の本場の中華料理や、中国の面白いスポットなどにたくさん連れて行ってあげるといってくれているので、とても楽しみにしています。特に楽しみなのが中華料理です。私は中華料理がとても好きなので留学期間中に堪能したいと思います。

楽しみでもあり、不安でもある中国留学を満足のものにするためには、やはり健康がとても大事だと思います。日本とは違い、水や食べ物に気をつけなければなりません。また、事件、事故に巻き込まれないためにも十分に気をつけたいと思います。

この留学で、できるだけたくさん知識を吸収し、日本に帰ってきて「成長した」と言われるように全力で過ごして行きたいです。



聊城大学

交換留学生

留学期間：2017年2月～2017年7月

経済経営学部 3年

佐平 晴矢

沖縄県立宮古高等学校出身

2016年度

日本留学の思い出



2016年度ドイツ・ミュンヘン大学、中国・聊城大学からの交換留学生在が留学の感想を寄せてくれました。



素敵な思い出が無数にできました

クラウス・カイと申します。ドイツのミュンヘン大学から来て、一年間駿河台大学に留学しました。楽しくて、面白くて、とても素敵な一年間でした。日本語能力を高めるために留学したいと思いましたが、その上にこの1年間に想像以上素敵な思い出ができました。よくみんなに聞かれることは「1年間で一番印象に残ったことは何ですか」ということです。しかし、正直に言えば決められないんです。1年間で楽しかったことは山ほどありました。ただ一つのことを選べないんです。素敵な花火を見たり、面白い祭りやイベントに連れて行ってもらったり、美味しい料理を食べたり、サークルの皆さんと一緒に頑張ったり、遊んだりして、日本の文化についてたくさん体験してきました。日本での生活はとても楽しかったです。

しかし、自分にとって、何よりよかったことはやはり日本人の友達ができたことだと思います。よくミュンヘン大学の先輩たちから、「日本人と友達になるのはとても

難しく、話す機会もあまりない」ということを聞きます。しかし自分の経験は全然違ってました。駿河台大学の皆さんにとっても親切にしてもらって、グローバル教育センターの皆さんも先生たちも日本人の大学生と話す機会をたくさん作ってくれました。そして、サークルに入るととてもいい友達ができ、とてもよかったと思います。

この1年間は本当にとても楽しくて、面白くて、日本でしかできない経験をたくさんできたと思います。この1年で残念なことはただ一つありました。それは、1年間は長いと思っていたのに、とても経つのが早かったことです。様々なイベントに連れて行ってくれてグローバル教育センターの皆さんにも先生たちにも、友達になってくれた人にも口では言い表わせないほど感謝しています！おかげでこの1年間は私にとって最高の思い出になりました。本当に心から有難うございました！



中央がカイさん

ミュンヘン大学

交換留学生

留学期間：2016年4月～2017年3月

クラウス カイ イボン
KRAUS, KAY YVONNE



ミュンヘン大学

交換留学生

留学期間：2016年4月～2017年3月

フリッラ サンドラ
PRILLER, SANDRA
マリア バルバラ
MARIA BARBARA

日本留学生活をしてみて、感じたこと

この一年間の日本留学生活は、私にとって、すばらしくて、とても有益な時間となりました。

大学の授業と日常生活で、日本語能力を高めることができました。これによって、日本語能力試験N2に合格することもできました。普通の大学の日常を経験して、たくさんの友達と知合いを作りました。

友達と大学の先生と一緒に色々なところに行って観光をしました。たとえば、日光、北海道、ディズニーランドとシーとに行きました。そして、埼玉県と東京都のあちこちに行って、色々な祭とレストランに行きました。

習慣と人間関係によって、近くに日本の文化について見聞しました。そして、日本人に自分のドイツの文化と習慣を教えました。この一意的なチャンスによって、夏休みの時には両親と弟と友人に美しい日本と日本文化を見せることができました。

この1年間に、2、3の問題がありました。大きな困難さはありませんでした。現に、時々異なる授業の難

しさのレベルは、たいへん違ってました。その上に、色々な課外活動と大学の活動がありましたから、自分の旅とかのための時間はそんなにありませんでした。だけど、私の日本語能力は、時々気が弱かったが、実は話相手がいつともとても親切で、愛想がよくて、思いやりがありました。勉強と経験のためにとてもよかったと思います。

それに加えて、一人で他国では自分の独立心を広げることができました。この留学の1年間は、最後から二番目と最後の日本学の学期の中になりましたから、大学院の時、留学するための最後のチャンスでした。卒業論文のテーマの確定と調査のために、いい機会でした。そして日本語能力を高めるとかのために、このチャンスをとらえたかったから、駿河台大学のスタッフに留学中の好意に感謝します。特にグローバル教育センターのみなさんいつもお世話になっておりますので、本当にありがとうございます。

留学の一年間、いろいろ勉強しました

1年前の私、初めて日本に到着して、ちょっと緊張していた。教科書から勉強していた日本は本当なのかどうか？期待を持って行って、1年の留学生生活を迎えた。最初の3ヶ月、日本での生活はあまり慣れなかった。授業も日常生活も、日本語が通じなかったから、大変だった。

第4月から、感じが変わった。授業の内容は辞書を持ってなくても、一応聞き取れた。先生も元気で授業を教えてくれて、私の日本語の上達に役に立った。そして、レストランのホールでバイトをして、話すチャンスがだんだん増えた。バイトの店長もすごく優しい人だから、たくさん助けて貰って、ラッキーだと思う。

1年間、たくさんの活動に参加した。面白かった活動がいっぱいある。印象が深く残っていることもある。まず、中国語しゃべり場に参加して、中国語を勉強している方と友達になった。また、留学生旅行は北海道に

行った。北海道の牛乳と名物「ジンギスカン鍋」を食べたり、テレビタワーを見に行ったり、「白い恋人」工場に行った。さらに、「お正月遊び」に参加して、「おせち料理」を自分で作ったり、凧をあげたり、書道をした。日本文化を自分自身で感じる事ができた。

印象が一番残っているのは夏休みの花火大会だと思う。留学する前に、ネットから日本の花火大会の写真を見たことある。すごく興味を持っていた。夏休みに先生に連れて行っていただき、長瀬へ行って花火大会を見た。朝からはっきり花火が見える所を探して、敷きものを敷いた。夜は近い距離でいろいろな形の花火を見ていた。音楽を聞きながら、花火を見るのは幸せだと思う。

1年間、とても楽しかった。先生方の授業はとても面白く、日本語の上達に役立った。中国に帰ってからも日本語の勉強を頑張っていきたいと思う。

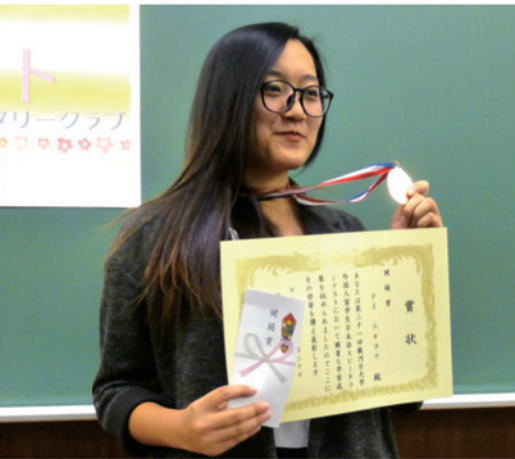


聊城大学

交換留学生

留学期間：2016年4月～2017年3月

曲 慧



聊城大学

交換留学生

留学期間：2016年4月～2017年3月

丁 奕揚

さまざまな経験をした一年でした

時間が経つのが早いです、中国に帰って、もう1月になりました。日本にいた1年は私にとって、貴重な時間です。この1年は日本語の授業だけではなく、いろいろなことが勉強になりました。

日本に来る前、私の一番の目標は、日本語の運用能力をある程度身につけて、国へ帰ってから私の日本語の実力を最大限発揮することができる仕事に就きたいという功利的な考え方でした。それは、私は大学での専攻が日本語だからです。過去を振り返ってみると、そこにはあまりにも単純過ぎる目的を持った私はいかかわいそうに思います。こんな私が日本について、情報なるものが欠けているのは当然の事実でした。しかし、この一年にたくさんの人が助けてくれて、すごく幸せな時間を過ごしました。

ところで、日本に来て、数ヶ月経った頃、運良く、先輩の紹介でアルバイトをすることができました。外国生活は私にとって、初めてゆえに、全てが不慣れで心配になりました。また、新しい人との付き合いを始め、一人暮

しをしなければならぬ立場になりました。そして、なによりも様々な国から来た外国人との付き合いも私にとって、大きな問題だと思いましたが、皆さんはとても優しくあったから、全然問題になりませんでした。

時間が過ぎれば過ぎるほど、私の生活は、学校の授業とアルバイトそして、すぐに学生寮に帰るという単純な繰り返しだけになりました。なにか本当に大事な事を見逃している気がしました。それは、留学としての面白さはないということでした。それに気が付きましたら、私の生活はすぐに変わりました。日本の友達と遊びに行き、学校の活動を参加して、豊かな生活を過ごしました。そして、留学の目的もだんだん変わりました、日本語の勉強だけでなく、日本と日本文化に興味を沸かしました。

この1年は、日本語の習得、日本文化の理解あるいは異文化体験そのものを目的としている私にとっては、日本にいる1年はさまざまな経験はとても大切だと思います。

大切な1年間

1年間の留学生生活はあっという間に過ぎてしまいました。生活にしても、勉強にしても、非常に充実して過ごしました。思い出す度にいろいろな感情が心に湧いてきます。日本に来る前に、中国で3年間も日本語を勉強してきましたが、日本に来てから、日本社会と日本人の国民性の奥にあるものを理解できるようになってきました。日本人はいつも「恩」、「情」、「恥」などの礼儀を大切にします。他人から何かを受けたら、恩返しをしなければなりません。それに、他人との関係の親しさによって、恩返しの仕方も変わります。また「恥」というものも常に意識されています。日本人の国民性の特徴については日本文化の授業でいろいろと学びました。それらはわれわれ中国の学生にとって、とても興味深い内容でした。日本人と日常生活で接する中で、「日本人は礼儀正しい」という言葉が一層理解できるようになりました。日本人は「立場」をどのように認識するかということにいつも気を配ります。

生活の面において、一年間の日本滞在期間に駿河台大学の先生にいろいろお世話になりました。寮の中に

は何種類もの電気製品が設置されており、生活する上ではとても便利でした。それに、先生方がいつもいろいろ配慮してくれて、生活の面で何か不便なところがあるとすぐ解決してくれました。そのおかげで、1年間の留学生生活は本当に楽しく過ごせました。

日本にいた時、日本人の友好と親切が深いと感じました。例えば、道に迷ってしまった時、近くにいる日本人に道を聞いたら、すぐに返事をしてくれます。知らなくても、他の日本人に聞いてから教えてくれます。日本人のそのような友好さに感動してしまうのは当たり前なことでしょう。だから、日本人は「他人に対する礼儀を重んじ、良い印象を与えてくれる」とよく言われます。それこそ「日本に住みやすい」と言われ、日本人が誠実に友好的な性格であると言われる有力な証拠だと思います。

この一年間の留学は私にとって、大切な経験です。ここで学んだことを今後、ちゃんと生かせるように頑張ります。また、駿河台大学にもう一度感謝致します。学校のおかげで、この留学は私の大学生活における最高の宝物になりました。ありがとうございました。



聊城大学

交換留学生

留学期間：2016年4月～2017年3月

姜 磊

外国語学習支援

グローバル教育センターでは、みなさんの語学力の向上を目的とした講習会等を実施しています。「英会話の練習をしたい!」「中国についてもっと知りたい!」などなど、興味がある人はぜひ参加してみてください!

English Chat Room 〈授業期間中・昼休みに開催〉

2017年度は、5月から開催予定!

将来、外国人と英語でペラペラ会話する、一流の国際人になりたい。そんな夢を持つ人は、夢で終わらせないために、English Chat Roomに参加しましょう!毎年数人の先生がEnglish Chat Roomを担当していますが、先生の個性もそれぞれ、やり方もそれぞれ。毎回参加する学生のメンバーも異なるので、失敗しても大丈夫! 何度でも挑戦しよう!



中国語広場 〈週1日・昼休みに開催〉

6、7、9、10、11月に開催予定!

中国語をもっと学びたい、という学生が集まる語学学習の交流コーナーです。上級生や中国留学経験者、中国人留学生が来て、みんなの学びをサポート。留学を目指す人、HSK中国語検定の合格を目指す人、目的は違っても一緒に学ぶと苦勞を共有できたり、思わぬ発見があったり。ぜひ、参加してください!



英語講習会 〈夏休み・春休み期間に開催予定〉

夏休みと春休みに、英語をもっと勉強したいという学生のために開催しています。テーマは毎年、学生のニーズにこたえて決定。「英会話力を伸ばしたい」「文法を基礎から学びなおしたい」「ヒアリングが・・・」なんでも要望を伝えてみてください!

